

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

安藤薫議員

1 中学校給食実施に向けた取り組みについて

【質問1回目】

○安藤薫議員 それでは、一般質問に入ります。

最初に、中学校給食実施に向けた取り組みについて質問いたします。

今年の予算で、2015年4月よりデリバリー選択制による中学校給食実施に向けて配膳室整備のための実施設計予算が組まれました。私たちは中学校給食を実施していくこと自体評価しつつも、実施方法においては、コスト優先、他市でも成功していないデリバリー選択制ではなく、小学校同様、自校調理全員喫食の完全給食を求めてまいりました。

昨年も保護者を中心に短期間で1万4,000筆を超す署名が集められ、アンケート調査や説明会、また教育委員会が諮問した中学校給食検討委員会などにも市民の声が多数寄せられました。市民のデリバリー選択制に対する不安への回答、より専門的な検証が不十分で、結論ありきという批判も出されました。

こうした経過を経て、今後2年後の実施に向けて取り組まれていくわけですから、これまで以上に情報公開も説明責任も、そして何より市民参加が求められると思います。今後の実施に向けての検討の視点やスケジュールはどのようになっているのか、お答えをお願いいたします。

【質問1回目への答弁】

○山本教育総務部長 まず、中学校給食に係るご質問にお答えをいたします。

中学校給食につきましては、ご承知のように、中学校給食検討委員会での議論を踏まえ、今年1月18日開催の第1回教育委員会定例会において平成27年度からデリバリー選択制で実施するということを決定したものでございます。現在、複数の民間事業者からデリバリーの実施方法、対応できる食数、運搬に

かかる時間等々を調査しているところでございます。また、デリバリー選択制を実施している近隣市の学校を訪問し、提供方法やアレルギー生徒への対応、学校での実施状況などを聞き取りしながら、来年度の業者選定に向け事務を進めているところでございます。

導入に向けての具体的なスケジュールといたしましては、今年度に配膳室の実施設計を行うため、吹田市、大阪市などへの視察を行いました。視察時には、建築担当課の職員も同行していただき、配膳室の状況や設備面などを点検し、秋以降の契約に向け調査を行っているところであり、来年度に工事着手できるよう進めているところでございます。

また、民間事業者から聞き取りを行ったノウハウや視察内容などを分析し、今後、学校給食会を中心とする保護者、学校関係者などで構成する、仮称でございますが、デリバリー選択制給食検討会を設置し、平成27年度の実施に向け、よりよい中学校給食になるよう進めてまいりたいと思います。

【質問2回目】

○安藤薫議員 中学校給食の取り組みについてです。

この間の中学校給食実施に向けて、保護者や私たちも議会でも、議会の外でもさまざまな議論をしてまいりました。小学校と同じように学校の調理室でつくった栄養バランスのとれた温かい給食を全ての中学生に提供していく、学校給食法に提起されている完全給食を実施してほしいという願いというのは大変大きいものがあるというのを認識しているところです。その中でも、この議論の中でも栄養バランスのとれた給食にしてほしい、食材や調理方法などの安全性の確保や温かい給食、アレルギーへの対応、食育的な観点、また、経済的な理由によって1食300円相当にな

1 中学校給食実施に向けた取り組みについて

と言われていたデリバリー給食が頼めない子が出ないようにするための就学援助金制度の導入などなど、また同時に、一番給食が導入されたときに給食指導をする必要のある学校現場との協議や負担軽減という問題などについて議論をしてきたと思います。こうした議論の中で教育委員会は、論点が出尽くしたとあって議論を打ち切って、デリバリー選択制を導入することを決めてこられた経過があるわけですので、この2年間の中でそれぞれの問題について具体的にどのように課題を克服していくのかというのをしっかりと示していただきながら進めていただきたいと思いますね。

そういう意味では、先ほど答弁の中でもありましたように、仮称デリバリー選択制検討委員会というものの中でいろんな議論をされていくというふうなお話がありました。その中でやるのはもちろんのことですけれども、広く市民の皆さんにその内容や、克服していく論点、視点をどうしていくのか、すぐできること、できないこと、しかし将来的には克服できることというのを整理して示していく必要があるかと思えますけれども、その点のお考え、具体的にどのように克服していこうとしているのかについて、お聞かせいただきたいと思えます。

【質問2回目への答弁】

○山本教育総務部長 中学校給食検討会の提言に係るご質問にお答えいたします。

この提言書の中で実施に向けての検討に当たりますと、喫食率の向上、アレルギーを持つ生徒さんへの配慮、また選択制の実施後においても全員喫食や就学援助制度の導入などについて提言をいただいたものでございます。これらの提言につきましては、先ほどもご答弁申し上げました、仮称ではございませ

が、デリバリー選択制給食検討会にて先進市の取り組み等々を参考に、注文の方法なども含め協議、検討を行って行く予定でございます。会議の公開につきましては、市で作成いたしております会議の公開の指針に従い対応してまいります。

また、給食を実施していく上で、学校現場におきましては新たに給食指導が必要になりますことから、負担が大きくなるよう十分に協議を行うとともに、保護者の方々に対してもデリバリー選択制給食の具体的な検討内容について情報提供をし、よりよい給食の実施ができるよう努めてまいります

【質問3回目】

○安藤薫議員 中学校給食について述べておきたいと思えます。

この間、中学校給食をめぐって、今まで実施されていなかったものを実施していくという点については、大変ありがたいという声もたくさんお聞きしています。一方で、せっかく導入するのであれば、小学校と同じように、全ての子どもたちが同じように一緒に同じものを食べるという学校給食の目的に沿った給食にしてほしいという声があるのは当然のことだと思えます。そして、その中では特に、先ほども申し上げました経済的な負担の大きさによって注文できないような子どもたちが生まれるのではないかと、またはアレルギーの問題でデリバリー選択制での対応が困難だという説明をされてきましたけれども、最初からアレルギーを持っている子たちは排除されてしまうものがどうして給食と言えるんだというような声も多数お聞きしています。よりよい中学校給食を求める会の皆さんの署名運動、それからアンケートや説明会、そして教育委員会が開いた中学校給食検討委員会の中でも保護者代表の検討委員さんが意見を述べられ

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

安藤薫議員

1 中学校給食実施に向けた取り組みについて

---

て、教育委員会にも文書で意見を提出されていると聞いています。市政モニターの方からも就学援助金の問題などなどが要望されています。

こうした議論の上に立って2年後の実施に向けて進めていくわけですから、今おっしゃいましたデリバリー選択制給食検討委員会の中での議論はもちろんのことでありますけども、一つ一つ具体的に市民情報公開をして、市民参加のもとでよりよい中学校給食を進めていくことが大事だというふうに思っています。この間の大きな指摘は、結論ありきのような会議だったというような声が非常に大きかったんですね。こうした声が聞かれるような検討によって行われる中学校給食というのは大変問題があると思いますので、その点はぜひ留意をしていただきたいと思います。その点のお考えについて、再度ご答弁を求めておきたいと思えます。

【質問3回目への答弁】

○山本教育総務部長 中学校給食導入に当たって情報公開等々をどのようにしていくのかというようなご質問にお答えを申し上げます。

先ほども申しましたように、検討委員会というものを設置を予定しております。その中身につきましては、公開できるところは公開し、また、絶えず教育委員会のほうで検討している状況につきましてを情報提供を今後とも発信してまいりたいというふうに考えております。